

日付	名前	点数 /10
----	----	-----------

○ 1回目 ○ 2回目 ○ 3回目

無料プリント

一次の言葉の意味を後のア～オから選び、記号で答えなさい。同じ記号は二度使いません。

(一) したり顔

(二) 失笑

(三) 煮詰まる

(四) 彷彿^{ほうふつ}

(五) まんじりともせず

ア 見たものがよくにいて、ほかのものを思い出させること。

イ 話し合いが進んで、もうすぐ答えが出そうになること。

ウ がまんできずに、ぷつとふき出して笑うこと。

エ うまくいったと、じまんしているような顔つき。

オ ひと晩じゅう、少しもねむらないで。

二次の言葉の意味を後のア～オから選び、記号で答えなさい。同じ記号は二度使いません。

(六) かけがえのない

(七) まとう

(八) 即座^{そくざ}

(九) 大根役者

(十) 引っ込み思案

ア その場ですぐに。時間をおかずに。

イ しばいがへたな役者を、からかっていう言葉。

ウ はずかしがりで、自分から前に出られない性格。

エ 服などを体につけること。身につけること。

オ ほかのものとはとりかえられない、大切なもの。



日付	名前	点数 /10
----	----	-----------

○ 1回目 ○ 2回目 ○ 3回目

無料プリント

一次の言葉の意味を後のア～オから選び、記号で答えなさい。同じ記号は二度使いません。

(一) 十八番

(二) 連想

(三) とつき

(四) 言いなり

(五) 塩梅

ア 考えるひまもないほど短い時間。

イ その人がいちばんとくいなこと。

ウ 味つけのかげん。また、ものごとのぐあいや、ほどよく整えること。

エ あることから、それにつながる別のことを思いうかべること。

オ 人に言われたとおりに、何でもしたがうこと。

二次の言葉の意味を後のア～オから選び、記号で答えなさい。同じ記号は二度使いません。

(六) 自嘲じちよう

(七) まくしたてる

(八) そらんじる

(九) そぞろ歩く

(十) おもねる

ア どこへ行くと決めずに、ぶらぶら歩く。

イ 何も見ないで、覚えたことを言うこと。

ウ 自分で自分のことを、ばかにして笑うこと。

エ いきおいよく、次々としゃべること。

オ 気に入られようとして、相手にこびる。



日付	名前	点数 /10
----	----	-----------

○ 1回目 ○ 2回目 ○ 3回目

無料プリント

一次の言葉の意味を後のア～オから選び、記号で答えなさい。同じ記号は二度使いません。

(一) まどろむ

(二) まっとうする

(三) 勘ぐる^{かん}

(四) むべなるかな

(五) 愛想笑い

ア 相手にきげんよくしてもらうために、わざと笑うこと。

イ 役目などを、さいごまでやりとげる。

ウ 少しのあいだ、うとうとねむる。

エ 何かうらがあるのではと、悪くうたがう。

オ なるほど、そうなるのも当然だなあ、という気持ち。

二次の言葉の意味を後のア～オから選び、記号で答えなさい。同じ記号は二度使いません。

(六) 至難の業

(七) ささくれ立つ

(八) 仏頂面

(九) 引用

(十) おじけづく

ア きげんが悪くて、ふくれた顔。

イ こわくなって、やろうとしていたことからしりごみする。

ウ 人の言葉や文を、自分の文章の中にそのままのせること。

エ とてもむずかしいこと。

オ 指の皮がむけてとげのようになる。また、気持ちがとげとげしくなる。



日付	名前	点数
		/10

○ 1回目 ○ 2回目 ○ 3回目

無料プリント

一次の言葉の意味を後のア～オから選び、記号で答えなさい。同じ記号は二度使いません。

(一) 隠^{かく}し味

(二) 原型

(三) 障る

(四) 白ける

(五) 素通り

ア 楽しかったふんいきが、急につまらなくなる。

イ じやまになる。また、体によくないことや、いやな気持ちになること。

ウ 料理をおいしくするために、こっそり少し入れる調味料。

エ よらないで、そのまま通りすぎることに。

オ あとから変わる前の、もとになった形。

二次の言葉の意味を後のア～オから選び、記号で答えなさい。同じ記号は二度使いません。

(六) 番狂^{ばんくる}わせ

(七) 足し

(八) 奮発

(九) 批判

(十) 張り合い

ア よいところと悪いところを考えて意見を言うこと。

悪い点を指摘^{してき}すること。

イ 思い切って、多めにお金を出すこと。

ウ 思っていたのとちがう結果になること。弱いほうが勝つことなど。

エ がんばりがいがあつて、やる気が出ることに。

オ たりないところをおぎなうもの。



一次の言葉の意味を後のア～エから選び、記号で答えなさい。同じ記号は二度使いません。

(一) なぞかけ

(二) よりどころ

(三) 無心

(四) 迷信

ア 本当だという理由がないのに、信じられている言い伝え。

イ 二つのものの、にているところを言い当てる言葉遊び。

ウ 心のささやえになるもの。考えのもとになるもの。

エ ほかのことを考えず、夢中になっていること。

二次の言葉の意味を後のア～ウから選び、記号で答えなさい。同じ記号は二度使いません。

(五) 別格

(六) 用心棒

(七) 粒ぞろい

ア 自分を守ってもらうために、そばにいてももらう人。

イ ほかとはちがう、特別なあつかい。

ウ どれもすぐれていて、よいものばかりそろっていること。

